

月刊

# GPP



Vol.15

平成29年1月号

株式会社  
グロースパートナーズ

新たな一年が始まりました。いったいどんな一年が待ち受けているのか、我々がセルドロン事業も4年目を迎え2ND PHASEに入ろうとしている。どちらかと言うと、突っ走って来た感が否めないこの3年間であったが、しつかり地に足を付けて、ターゲットをしつかり絞って、着実に一つ一つ成果を上げて行く一年にしたいと、改めて心に刻んでいるところである。

頂いたが、今月30日に第一回目の中間報告会が開催される。幾つかのバックデータが開示され、それらに基づき実用化出来る分野を模索していくことになるが、中間報告とは言え、大いに期待せざるを得ない。セルドロンの活躍する分野を今までは独りよがり限定していたが、しつかりした根拠のデータの蓄積が出来たら新たな可能性の発見があるかも知れない。加えて、まだ公表は出来ないが、近々新たに国立大学と共同研究契約を締結することが確定した。

## 謹賀新年



2017

新年明けましておめでとうございます。  
本年も宜しくお願い申し上げます。

こちらもセルドロンの可能性を大きく引き出すであろう研究であり、事業化されれば社会に大きく貢献する一大事業になると自負している。

セルドロンの優位性は昨年取得した特許にある通り、「固液混合体の流動性を低下させる」である。しかも化学反応ではなく、物理的にある。我らのセルドロンが福島復興事業で活躍しているのは、既にご承知の方も多いと思う。なぜか？

今や、除染廃棄物は東京ドーム18個分と言われているが、これから始まるダム湖

やため池を加えるのと、とてもないポリウレムになるのは想像に難くないはず。

<http://www.sting-wl.com/20160608.html>

東京ドーム  
1個分＝  
124万㎡  
東京ドーム  
18個分＝  
2,232万㎡



そして、それらの全ての除染廃棄物を、現行の仮置き場から、いまだ建設もままならない中間貯蔵庫に移動させて、そして半減期を待つ、というのが基本方針である。勿論、このやり方は間違いではなく、現代科学ではそれしか解決方法がない分けだが、途方もない数の人が関わり、多くの時間が費やされることになる。自然由来のセルドロンは、セメントにも、ポリマーにも、石灰にも絶対に成し得ないことで、大きくこの事業、即ち除染廃棄物の減容化に貢献していきます。

また、今年は福島復興事業以外でもセルドロンの活躍出来る分野、場所にしたいと残していきたくて考えており、まずは愛媛県で実現して行きたいと考えている。こちらも是非、こうご期待ください。

藤井 成厚

## 2016年振り返り

昨年は多くの現場や展示会でセルドロンにご関心いただきありがとうございます。除染、浚渫、汚泥、運搬、残コン、などのさまざまな用途に採用できたことは、多くの方のご協力のおかげでございます。2016年の出荷数は、2015年の80トンから2.6倍の約210トンとなりました。

2016年最初の案件は、一緒に用途開発を行っていた大手ゼネコン様から突然のご依頼でした。現場で処分しづらい残コン(特殊生コン)あるから、セルドロン改質すること。この施工結果から、NETISの申請準備が正式に始まりました。



2月には、いつも声をかけていただく株式会社富士植木様から少し緩い土があるからセルドロン持ってきてと応援要請がありました。学校のグラウンド周りで使っていたいただきました。



3月ころから福島県二本松市へ本格的な出荷が始まりました。

4月には、愛媛県の株式会社東昇技建様が出展する展示会にセルドロンを展示して頂きました。その場で、地盤調査する際に発生する泥水に使うということで購入いただき、地盤調査の用途にも幅が広がりました。



5月は、GZZが出店する環境展へ展示させていただきました。そのころから、福島県の除染業者様でセルドロンの試験施工が実施し、採用に向けて動き始めました。



7月には、福島県のある汚染土仮置場に保管されていた汚染土に、雨水が入り込み、中間貯蔵庫への運搬が出来ないものが見つかりました。その場で簡単に改質できるセルドロンが改良するデモの対象となりました。



9月には、除染業者様向けデモセットができ、どこでも簡単にデモができるようになりました。



10月には、1月から始まったNETISの申請準備が最終試験を現場で実施しました。この試験結果をNETIS申請に添付します。

12月には、浚渫をする現場にて問い合わせ、浚渫土を処分せずに、床土として再利用を希望しておりセルドロンの得意ところとします。現場都合により施工は2月になりそうですが、浚渫の場内再利用は、将来的にすぐ魅力的な現場です。



セルドロンは、汎用性の高い材料として、様々な用途に活用できますので、ちよつとしたところでお試しく下さい。

2017年も何卒宜しくお願いいたします。

## キム・ギョンの コラコーナー 二本松の霞ヶ城

日本には多くの城が保存されています。

大阪城のように有名な城もありますが、今ご紹介する場所は二本松の霞ヶ城です。

霞ヶ城は位1643年に初代二本松藩主によって近世の城壁で整備された場所。今は県立自然公園として管理されています。

霞ヶ城には戊辰戦争の歴史を歴史的な記録が多く、歴史勉強も出来るし季節によって色々な花もみえるので、実際親子連れで来る家族も多いです。

10月からは菊人形も開催します。花を見ながら歴史の勉強も出来るので一度行ってみるのもいい選択だと思えます。



\*原稿の原文そのままを掲載しております。